

金沢泉鏡花フェスティバル2017 プレイベント ～100年目の「天守物語」～

舞台「天守物語」



©波津彬子

平成29年11月に開催される「金沢泉鏡花フェスティバル2017～金沢・鏡花ウィーク～」金沢21世紀美術館と金沢能楽美術館は共同で、鏡花フェスティバルプレイベントとして、発表100周年を迎える「天守物語」をテーマに、まちなかから、鏡花の新たな魅力発信を行います。

鏡花3大戯曲中、幾多の映像・舞台化により最も有名な「天守物語」。能楽師安田登が、能をベースに、人形、語り、朗読、狂言、ダンス等様々な芸能をコラボレートした、新たな「天守物語」の舞台制作に挑みます。

関連して、金沢市出身の少女漫画家、波津彬子による鏡花戯曲作品集「鏡花夢幻」から、えりすぐりの原画や新たに描き起こされたイラストを展示する個展を開催します。また、同舞台に出演する子どもたち向けのワークショップや「天守物語」をテーマとした座談会も行います。

ご取材・事前告知をお願い申し上げます。

能をベースに、人形、語り、朗読、狂言、ダンス等様々な芸能を
コラボレートした、100年目「天守物語」の新たなる進化

| | |
|-------|--|
| イベント名 | 金沢泉鏡花フェスティバル2017 プレイベント ～100年目の「天守物語」～ 舞台「天守物語」 |
| 日時 | 2017年10月8日(土) 19:00 / 9日(日) 13:30 (2回公演) ※開場は各30分前 |
| 会場 | 金沢21世紀美術館 シアター21 |
| 料金 | 一般 前売り 2,700円 / 当日 3,000円 *全席自由 |
| 取扱 | 金沢21世紀美術館ミュージアムショップ / ローケケHMV(Lコード 56818) チケットぴあ(Pコード 480-826) *8/9(水)発売 |
| 友の会特典 | チケット料金割引 前売り 2,400円/当日2,700円(要会員証提示)※ミュージアムショップ、友の会 専用ウェブサイト予約、当日受付にて取扱い。 優先入場 ※入場時に要会員証提示 |
| 主催 | 金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団] 金沢能楽美術館[(公財)金沢芸術創造財団] |
| 助成 | 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 |
| 協力 | 小坂獅子舞保存会 |
| 後援 | 北國新聞社、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、エフエム石川 |

取材申込み / 問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:川守(広報室) 事業担当:岩崎(交流課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



舞台「天守物語」

(あらすじ)

播州姫路白鷺城の天守閣、魔物が棲むと恐れられた最上層。天守の主である美しき妖怪・富姫のもとへ、妹分の亀姫一行が猪苗代から生首を土産に現れます。仲睦まじく手鞠をつき、亀姫との宴を愉しんだ富姫は、手土産の返礼にと城主秘蔵の白鷹を奪い亀姫に贈ります。

その夜、鷹を追って天守にやって来た若き美貌の侍・姫川図書之助。その凛々しい姿と涼やかな心に魅了された富姫は、人間たちから追われる身となった図書之助を匿うも、魔界の象徴である青獅子の眼を追手に突かれたため、二人は盲目となり……。

「お顔が見たい。ただ一目……千歳百歳にただ一度、たった一度の恋だのに。」

今年、発表100年目を迎えた、泉鏡花の傑作戯曲『天守物語』。この妖しくも美しい物語を、古代シュメール神話「イナンナの冥界下り」2018年のイギリス公演などで話題の能楽師安田登による新しい演出で上演します。能、人形、語り、朗読、狂言、ダンス等様々な芸能をコラボレートした舞台は、その道のプロフェッショナルらによるジャムセッションの趣もあります。オリジナリティあふれる初演舞台にご期待ください。

原作＝泉鏡花『天守物語』

脚色・演出＝安田登(能楽師)

出演＝安田登、百鬼ゆめひな(人形師)、奥津健太郎(能楽師狂言方)、
笹目美熙(子方)、東雅夫(文藝評論家)、玉川奈々福(浪曲師)、
Nadiyah(ダンサー)、JUNKO☆(ダンサー／実験道場)、
蛇澤多計彦(ダンサー／実験道場)、我妻良樹(ダンサー／実験道場)、
城ノ脇隆太(ダンサー／実験道場)、蛇澤圭佑(ダンサー／実験道場)、
平田雅大(ダンサー／実験道場)、COCO☆(ダンサー)、UPA(ダンサー)、
KO-CHU(ダンサー)、ヲノサトル(音楽家)、上野賢治(フルート)、
森山雅之(太鼓)、
コロスの皆さん、
禿・妖怪の子どもたち(公募)



「海神別荘」2016 カメラホール 提供：安田登

舞台監督＝合田義弘

舞台・照明＝(株)金沢舞台

音響＝城下寛

特徴

1. 能をベースに、様々な芸能がコラボする異色舞台

脚色・演出の安田登は、原作「天守物語」を二つの部分に分け、前半を「妖怪編」、後半を「恋愛編」とし、それぞれが能の「序破急」の展開を見せるように構成します。能を基本とした舞台に出演するのは、多彩な芸能の方たちです。能楽師以外にも、例えば、人形師の百鬼ゆめひな、幻想文学の分野で活躍するアンソロジスト・文藝評論家の東雅夫、浪曲師の玉川奈々福、ダンサーのJUNKO☆等が登場し、ジャンルを越えて、舞台を作り上げます。音楽を担当するのは「明和電機」のヲノサトル。地元のフルート奏者・上野賢治との共演にも注目です。

2. ポスター、チラシのメインイメージは、金沢出身の少女漫画家・波津彬子の書き下ろし

「金沢泉鏡花フェスティバル2017 プレイベント～100年目の「天守物語」～」のメインイメージを担当したのは、金沢で生まれ育ったベテラン漫画家・波津彬子。今回特別に書き下ろした波津くん身のイラストが、繊細であでやかな「天守物語」の世界を伝えます。また、関連企画として「特別展示「鏡花夢幻」原画展～波津彬子が描く泉鏡花の世界～」を開催します。

3. 禿(かむろ)や妖怪として、ワークショップに参加した地元の子どもたちが出演

禿(かむろ)＝女の童子や妖怪役として、出演する子どもたちを公募。

安田登やJUNKO☆等が指導する計4回のワークショップを経て、地元の子どもたちが舞台上に上がります。

プロフィール

安田登 YASUDA Noboru

能楽師 下掛宝生流ワキ方。国内外を問わず舞台上で活躍する傍ら、能を基本にした新しい演劇の創作、演出等も手がけ、様々な分野のアーティストや文化人との交流の場を創造している。金沢では昨年「海神別荘」で鏡花戯曲を演出。



関連企画

集まれ！「禿(かむろ)と妖怪の子供たち」 ～舞台「天守物語」の出演者を募集～

募集対象:本公演(10月8日、9日)及び練習(9月に数回程度)に参加できる小中学生約20名

会場:金沢能楽美術館 3階 研修室

ワークショップ日程:

第1回 7月23日(日) 10:30～12:00 安田登(能楽師)、ヲノサトル(音楽家)、Junko☆(ダンサー)

第2回 8月5日(土) 15:00～17:00 安田登、玉川奈々福(浪曲師)、Junko☆

第3回 8月19日(土) 14:00～15:30 Junko☆

第4回 9月2日(土) 14:00～15:30 安田登、Junko☆

申込み:

金沢能楽美術館あて電話又はFAXで受付 ※FAXの場合は「お名前、学年、住所、電話番号(連絡のつきやすいもの)」をご記入ください。

問合せ・応募先:

金沢能楽美術館 電話 076-220-2790 FAX 076-220-2791



第1回ワークショップの様相

特別展示「鏡花夢幻」原画展～波津彬子が描く泉鏡花の世界～

金沢で生まれ育った少女漫画家、波津彬子による鏡花3大戯曲の漫画化作品集「鏡花夢幻」から、名場面の原画、また新たに描き下ろされたイラスト等もあわせて、茶室「松涛庵」での展示を行います。

日時:2017年9月30日(土)～10月9日(月・祝)

会場:金沢21世紀美術館 松涛庵(茶室)

料金:入場無料

開場時間:10:00～18:00

休場日:10月2日(月)

金沢ナイトミュージアム2017

鼎談:愛か、お化けか!? 能楽師 × 少女漫画家 × アンソロジストが語る『天守物語』

日時:2017年9月2日(土) 18:30開演 / 18:00開場

会場:金沢能楽美術館

参加費:一般 300円、65歳以上 200円、高校生以下 無料

定員:80名

申込み:金沢ナイトミュージアムWEBサイト及び電話 076-220-2790(金沢能楽美術館・月曜休)

主催:公益財団法人金沢芸術創造財団、公益財団法人金沢文化振興財団

後援:金沢市、北國新聞社、テレビ金沢、北陸放送、エフエム石川